

## 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北信エリア 地元産酒類のツーリズム資源化推進事業
事業主体 (連絡先)	北信エリア 地元産酒類のツーリズム資源化推進実行委員会 (TEL:026-227-2162 ㈱JTB長野支店内)
事業区分	産業振興・雇用拡大に関する事業 その他地域の特色、個性を活かした産業振興・雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	6,129,233 円 (うち支援金: 4,903,000 円)

### 事業内容

- ① 北ながの酒蔵オープンデイ オンライン配信  
北信エリアの酒蔵 10 蔵と信州地酒アドバイザーの玉岡氏が集合し、蔵人らが酒蔵の仕事や、おすすめの飲み方、酒蔵の位置する周辺エリアの魅力を語る内容で、第1部乾杯編、第2部質問編、第3部利酒編として、視聴者の見やすさを意識して編集し公開。会場は長野駅前の飲食店で、見栄え良いつまみ料理と地酒のマリアージュを視覚からも楽しめるものとした。お酒は EC サイト「NAGANO マルシェ」から購入することができる仕組みとなっている。
- ② 北ながの酒蔵オープンデイ リアルイベント  
日中は善光寺帰りの県内外の観光客、夕方以降は通勤途中の方に来訪いただいた。試飲をする人もしない人も、酒蔵と話が弾み興味を持っていただいた様子が伺えた。酒蔵を観光資源として県内外の方に発信し、地域住民も地元の酒蔵の価値に気付いていただく機会となった。

### 事業効果

- ・オンライン配信  
2022年10月29日(土) 配信開始  
公式サイトアクセス数: 18,853 回  
アクセスユーザー数: 16,379 人  
再生回数 動画本編: 993 回 (3部合計)  
ショート動画: 69,470 回
- ・リアルイベント  
2022年6月3日(金) 16:00~20:00  
有料試飲購入者数: 192 人 (チケット購入枚数より)  
総来場者数: 300 人~500 人



【目標・ねらい】

- ①酒蔵の観光資源化
- ②豊富な酒銘柄の周知
- ③観光客による地域経済活性化
- ④地域の酒蔵の存続

※自己評価 【 B 】

#### 【理由】

これまでの活動からターゲット設定を明確にし、発信することができた。コロナ以降初の酒蔵とお客様が触れ合うイベントを実施できた。

### 今後の取り組み

4年間元気づくり支援金を活用させていただきイベント実施や制作を行ったことで、まず北信エリアの酒蔵同士の横の繋がりが生まれ、それまでイベント参加の経験や酒蔵案内の経験が少ない酒蔵も多くのお客様にお酒と酒蔵を紹介し、動画配信では各酒蔵自身が持つオリジナリティ・魅力を考え発信する事でノウハウがたまった。今後はこの繋がりを使って、復活する観光客に向け交通システムや旅行商品との連携をし、これまでの制作物も活用して引き続き酒蔵ツーリズムを振興していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

## 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	～故郷の風景を想う～「あんずで繋ぐ物語」事業
事業主体 (連絡先)	長野商工会議所 〒380-0904 長野市七瀬中町 276 026-227-2428
事業区分	、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,660,941 円 (うち支援金：1,208,000 円)

### 事業内容

あんずを活用した美観形成と、地域の名物化を作る。

- ① 「あんず苗木植樹プロジェクト」植樹祭・苗木配布  
あんずの苗木の植樹と松代地域へ 100 本の植樹
- ② あんずマルシェ開催  
松代町内と千曲市内のあんず製品取扱店を集め  
あんずマルシェを開催
- ③ あんずスタンプラリー開催  
松代町内と千曲市の回遊目的として、あんずスタンプラリーの実施。多くの方に参加頂きました。
- ④ あんず新製品開発  
あんずを使用したあんず製品の開発として「あんずブレッド」を作りました。



【あんずマルシェ】

### 【目標・ねらい】

- ① あんずの里としての景観形成
- ② あんず商品の消費拡大
- ③ 周辺地域の回遊
- ④ 新しい松代産名物商品の開発

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① あんず苗木植樹プロジェクト 松代町内に 100 本苗木が配布され、町内の景観形成のスタートが出来た。
- ② あんずマルシェ開催 目標参加店舗は集まったが、まだまだ参加できそうな店舗開拓が必要である。
- ③ あんずスタンプラリーの実施 応募数が想定より少なかった。
- ④ あんず新製品開発  
あんずを使用したあんず製品の開発として「あんずブレッド」を作りましたが、酸味が強いなど課題が残りました。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること

美観形成の配布だけではなく、うまく育つように育て方などのフォローを行う。また、苗木の植樹が少ない地域への苗木を増やす必要があるかと思えます。

あんず製品消費拡大に関しては、千曲市との連携を深め千曲市へ出張する形で千曲市側の催事へ参加することも必要だと感じた。あんず新製品開発は、あんずの特性を生かした商品開発を行えるようにあんずブレッドの改良を目指します。

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

苗木の配布は大変多くの方からもお申込みをいただいたが、希望者全てに配布が出来ず残念であった。あんずマルシェは多くの来場者も見られ、出店者からも次年度以降の開催希望が多かった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

## 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	eバイクによる長野市中条の魅力開拓事業
事業主体 (連絡先)	eternal story 株式会社
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,174,261 円 (うち支援金: 815,000 円)

### 事業内容

本事業は、長野市中条地区の魅力、名所をeバイクで周遊できるアクティビティ開発である。

《無料試乗等によるコース検討》

中条住民自治協議会等の協力のもとに、中条山間部周遊しやすいコースを開拓。

《中条山間部周遊の特徴を盛り込んだチラシ作成》

《レンタサイクル事業》

時期: 2022年10月～貸出スタート

主な設置場所: 中条地域振興施設やきもち家

設置台数: 5台 利用年齢: 小学生高学年以上

利用料金: 1時間 1,000円～ (保険料別)

目標利用人数: 30名

### 事業効果

《年間実績(2022年7月～2023年2月)》総数40名

・無料試乗会3回実施 利用人数12名

・10月、11月サービス利用人数: 28名

・サービス売上: 38,900円

(保険料8,400円、利用料30,500円)

※2022年7月～2022年9月は準備期間のため無料

※2022年12月～積雪により冬期期間貸出停止

《事業効果》

- ・中条山間部の名所は、道路が狭いので、自動車ではなくeバイクという手段で周遊できるようになった
- ・宿泊者が施設から地域へ回遊できる仕組みとして、eバイクが機能し、地域の魅力開拓につながった
- ・インスタの写真を見て、eバイク予約が入った。
- ・地元新聞などへの掲載により、eバイクの認知度を高めることができた

### 今後の取り組み

- ・中条住民自治協議会と連携し、名所巡りのサイクリングコースに組み入れ、利用者と地域との交流を促進するきっかけを作った。
- ・中条地区移住お試しイベント(11月24日)にて、お菜採りツアー会場への移動の際に、eバイク使用。中条の魅力を発見するツアーを来季実施検討。
- ・地元小中学生への広報として、来季中条支所での展示、住民割施策を検討
- ・令和5年度長野市がサイクリング事業化を目指しており、先行して中条地区はeバイクを導入したため、PRの先進地を目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【中条棚田風景】

### 【目標・ねらい】

- ① 中条地区の魅力開拓
- ② 中条地区周遊客の増加
- ③ 中条地区との協働促進
- ④ 環境に配慮した観光(脱炭素)

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

利用人数は、無料試乗を含めて40名と目標を大きく上回った。本格稼働が10月にずれ込んだが、中条住民自治協議会の協力のもとサイクリングコースを練ることができよかった。

## 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	働く女性の活躍を軸とした移住・二拠点居住者の受け皿づくりと情報発信
事業主体 (連絡先)	私たちのつながりづくり実行委員会
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり) 関連区分 (1)地域協働の推進
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,095,200円 (うち支援金: 3,247,000円)

### 事業内容

移住の課題解決に特化し、働く女性たちの移住促進の新たな受け皿を作る

【情報発信・アンバサダー】暮らしや働くという、地域に根付いた最新の情報を発信

【情報発信・アンバサダー】地域の女性と、移住者を繋げる窓口的役割

【コミュニティづくり\_交流会】移住者、移住検討者と長野の働く女性が交わる場づくりの活性化

【コミュニティづくり\_講座】域外の女性と、域内の女性が共創できる機会創出の促進

### 事業効果

- ① 関わる女性の数が、2021年の延数260名から350名へ増加(35%増)
- ② 社会課題である「女性活躍」テーマとした交流会イベントに94名が参加。長野地域における「女性活躍」を捉え直す機会と意識調査の実施につながった。
- ③ 長野地域にとどまらず首都圏でも配布されていることにより情報番組の特集でも取材されるなど移住者の受け皿の一端を担うコミュニティとして周知が広がった。
- ④ 「フリーペーパーを見て関わりたい」という問い合わせや参加者が増え次年度のコラボ企画も持ち上がっている。

### 今後の取り組み

今年度までは、長野市内のみの活動であったが、長野地域と活動が拡大できたことにより、関わる女性の数が増え、フリーペーパー設置場所も増えたことにより、活動内容の周知をより広範囲に展開していきたい。

また、「女性や若者に選ばれる地域づくり」の活性化として、社会課題である女性活躍のためのキャリア支援や、地域の魅力発信や、行政や企業と協働した地域課題解決に向けた取り組みなどを展開していきたい。

### (活動写真)



【長野県産業労働部女性起業イベント様子】

### 【目標・ねらい】

- ① 移住に特化した、質の高い【情報発信】【コミュニティづくり】を通して、女性が移住やつながりをつくりやすい長野地域をつくる
- ② 働く女性の人的ネットワーク作り
- ③ 女性活躍を推進する機運醸成

### ※自己評価【A】

#### 【理由】

- 関わる女性の数が、今年度の活動で35%増加。
- 行政コラボイベントが2件
- 県外企業からのイベント登壇依頼が2件
- フリーペーパーの内容を見てイベントに参加してくれる人が増えた



## 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域創生型ゼロカーボンチャレンジ
事業主体 (連絡先)	戸倉上山田商工会 (千曲市戸倉 1750)
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,450,784 円 (うち支援金: 3,500,000 円)

### 事業内容

ゼロカーボン×SDGsとして、地域で二酸化炭素の排出抑制への取組を実施。各事業者が取り組んでいる内容を動画にし、ポータルサイトにまとめ、地域内外へ情報発信。発電を体感できる発電装置を製作し、ゼロカーボンの啓発活動を実施した。

- ・各企業によるゼロカーボンへの取組 20社
- ・ゼロカーボン取組動画 30社
- ・研修会の開催: 6/16、6/23、10/5 延べ26名出席
- ・発電装置の製作
- ・イベント開催: 11/12 信州千曲観光会館 延べ154人來場。発電体験コーナー、EV車試乗会、飲食コーナー、防災を考えるコーナー等。

### 事業効果

本事業は、地域で取り組むことを重点にし、事業者の取組を見える化させることで、地域価値と企業価値の底上げに寄与させた。特に動画は、その会社の従業員が改めて取組の必要性を感じることができるといったインナー効果もあったという声があり、本事業の成果を感じた。さらに、これを機にSDGsとゼロカーボンを勉強した事業者やポータルサイトを見て必要性を感じた一般の方など、事業の効果を感じることができた。EV車の試乗と発電装置による電力の体感で、電気の大切さを経験することができるようになったため、一層の啓発活動ができるようになった。

### 今後の取り組み

本事業は、ゼロカーボン×SDGsとして全産業を巻き込み、展開することができた。今後も事業を継続し、啓発していくことで、中小企業同士の新たな連携による解決方法や、1人ひとりの行動に変化を与えられるような発展性を加えて、地域ブランド“ゼロカーボンシティ”を確立していきたい。さらに、ポータルサイトや動画があることで、啓発活動の効果を増大することができたため、関係団体・機関や、事業者の取引先やその従業員など、幅広いステークホルダーに伝え続けていき、より一層の二酸化炭素の排出抑制に繋げていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【 発電装置 】

### 【目標・ねらい】

- ①ゼロカーボンの取組を全産業へ波及させる
- ②発電装置で電気の啓発
- ③活動をWEBで情報発信

### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

- ・製造業、建設業、商業、飲食業、旅館業で取り組み、WEBで活動を訴求できた。
- ・EV車試乗と併せて発電装置による電力の体感で、環境を考える機会を創出できた。



【ポータルサイト】